



黒潮町 30年後も暮らしたくなるまちの未来

コンセプト デジタルを通して楽しくなるまち、イノベーションの発信地、生涯輝けるまち

目指す姿 誰一人取り残さないデジタルで暮らしやすく活気のあるまち

移住

①まち⇄人マッチング

仕事や趣味趣向から最適な移住先をマッチング。近隣町民の顔が分かるので安心して移住することができる。町の魅力が伝わることで移住が促進、地域間の人流も生まれ関係人口が増加する。

買い物

②家から簡単ショップ巡り

メタバース空間上の「黒潮町ストリート」にある店舗で買い物ができる。購入者の好みやニーズに合わせた品揃えをAIが提案。注文した商品は即日EVカーやドローンで配送される。

観光

③まちの楽しみ方を見える化

町民や観光客みんなの「私の楽しみ方・オススメ」を見える化し、四季や変化に対応したローカルの情報が時間経過と共にマップに反映される。

④津波・災害学習

外国人観光客が津波避難タワーで自動翻訳VRゴーグルをつけ、津波や災害について気軽に学習することができる。町民も利用することができ防災に役立てる。

仕事

⑤地域クラウドファンディング

黒潮町の新しい事業をみんなで応援する。お金が集まらなくてもブラッシュアップにつながる。

MaaS

⑫貨客混載での移動

人も貨物も運ぶ自動運転車。車両内のスペースを分け、人の移動と貨物の配送を同時に行う。

⑬どこでも医療

町にいながら医療MaaS車両でリモート医療を受けることができる。県外や海外でしか受けられない高度な診療も遠隔で簡単に受診が可能。

つながり・助け合い

⑭コミュニティスペース「KUROSHIO TUNAGU」

気軽に楽しく集まれ出会う場所、つながる場所となるコミュニティスペース。高齢者から子供まで町民同士のコミュニケーションが拡がり増える。

⑮スキルのマッチング

どこにどんなスキルを持っている人がいるか分かり、今すぐ支援が必要な人と今すぐ動ける人をマッチング。人脈づくりを要せず気軽に助け助けられる関係ができるとともに、町内の雇用の創出やキャリアアップにもつながる。

自然環境

⑥学びのフィールドは黒潮町

山、海、商業、漁業の新しいチャレンジや取り組みに学びのフィールドとして場所と経験を提供。学ぶために世界中から人が来る。

⑦太陽光発電で蓄電・電力管理

役場や道の駅など町中の施設に省エネルギーと創エネルギーの機能を同時に備えることで、実質的な電力消費を0とする。災害時には蓄電した電力を利用し避難所としても活用できる。

農業・漁業

⑧フードロス減らす

需要予測により、無駄な食品ロスを削減し、作業効率もUP。それでも余ってしまったものを、町民や移住者が見て買いに行くことで、地域の人同士のつながりも創出。

⑨どこでも農業

遊休農地を活用して、誰でも気軽に農業を楽しめる。地元農家と町民の交流の場にもなる。

ヘルスケア

⑩ケンコウゲーセン

みんなで体や頭を使うゲームで、楽しく健康になる。高齢者や町民が集まる場にもなり、楽しく仲間づくりができる。

⑪黒潮町ヘルシーツーリズム

黒潮町に滞在し、景色・食べ物・アクティビティ等の体験で健康に。町内のあらゆる場所で健康状態をトレースし、個人にフィードバック。黒潮町で健康で整った体と心が手に入る。

